

第 37 回神奈川県肉牛共進会が開催される

平成29年7月24、25、27日の3日間、第37回神奈川県肉牛共進会が開催されました。この共進会では、毎年、神奈川県内で肥育されている肉牛を、全国和牛登録協会が規定する肉牛審査標準に基づいて審査しています。

本年度の出品頭数は、県下11市町から黒毛和種牛13頭、交雑種牛9頭の計22頭にのぼりましたが、従来からの生産者に加えて、昨年度から新たに肥育経営をスタートさせた生産者からも交雑種牛の出品がありました。

審査は、生産者の牛舎を巡回し、出品牛の体高と胸囲及び腹囲を測定して発育状況を確認した後、目視および触診により肥育状態を判定しました。今回は、体の幅および深さに富み、十分な体積を備えた肥育牛が多く出品されましたが、特に資質に優れた肥育牛が目立ったため、序列付けは非常に困難でした。その中で、より前中後軀の釣り合いがよく、肉付きや脂肪のまわりがよい肥育状態の優れた、かつ質感の高いものを入賞牛（第1部黒毛和種牛6頭、第2部交雑種牛2頭の計8頭）として選出しました。入賞牛は引き続き各農場で飼養され、10月4日に開催予定の関東肉牛枝肉共進会に出品されます。

好調だった枝肉価格も今年に入ってから、やや低い水準で落ち着いてしまったため、肥育素牛の価格や飼料価格が高止まっている現状では肉牛肥育経営は依然苦しいままです。こうした共進会の開催が、少しでも経営意欲の喚起に役立ってくれればと思います。



(写真) 肥育状態が良好な上位入賞牛

備考

本共進会の主催は神奈川県家畜商業協同組合で、当所は出品牛の審査業務を中心に協力しています。なお、本共進会は10月に開催される関東肉牛枝肉共進会に出品する肥育牛を選出する予選にあたります。